

その年は
ほとんど
雨が降らず
猛暑が
続いていました
マスは
朝早くから
村内を歩き回り
暑さと
背負った
子どもの重みで
汗びしょり

お昼前に
マスは淵の
土手に
差しかかり
ました

この冷たい
水に
入ったら
どんなに
気持ち
いいだろう……

この暑さでは
水の誘惑には
誰も勝てません

その日は
一段と
暑さが
きびしく
マスはもう
フラフラ……

マスは子どもを
土手の大きな
木にくくり
つけると
淵に入って
行きました

この暑さでは
水の誘惑には
誰も勝てません

この冷たい
水に
入ったら
どんなに
気持ち
いいだろう……

ああ
いい
気持ち
極楽
極楽

マスは
誘われるように
禁断の淵の
奥へ奥へと
泳いで
いきます

そのとき
助けて
だれか!!

そのとき
助けて
だれか!!

そのとき
助けて
だれか!!

そのとき
助けて
だれか!!

そのとき
助けて
だれか!!

これは
一瞬の
出来事
でした
渦に巻き
こまれた
マスは
深い淵の
底へと
沈んで
いったのです

その後
村人は
淵に沈んだ
哀れな娘の
名を「マスカ淵」と呼び
この話を
後世に
語り継いで
いきました

その後
村人は
淵に沈んだ
哀れな娘の
名を「マスカ淵」と呼び
この話を
後世に
語り継いで
いきました